

長野県建設部長へ緊急要望を行いました。

令和元年11月28日

令和元年10月12日の台風19号豪雨災害では、堤防の決壊や越水により東信・北信地域の13社の砂利選別プラントが甚大な災害に見舞われました。

今回の河川の氾濫を鑑みると、砂利採取販売事業者として、河川流域で永く事業を営んできた経験上定期的な河川砂利の採取は、河川の増水に対して河川断面が十分に確保でき、治水上有益であること。また、骨材資源が枯渇化している現状から資源確保の観点からも有効な対策であることを訴え、高見澤会長より長谷川朋弘建設部長対して要望書を手渡しました。



また、河川砂利の採取では採取料免除、河川管理者による表土撤去や進入路の設置等の協力も訴えました。

本会からは、協会顧問の萩原清県議、平野成基県議、佐々木祥二県議、丸山栄一県議（危機管理建設委員長）の同席のもと、高見澤会長、片井副会長、松田副会長、太田副会長が出席しました。